

子育て Q&A

Q 最近よく「非認知能力」という言葉を耳にします。心身ともに健康で幸福度が高い人生を送るには、非認知能力の育成が不可欠だと言われています。では、非認知能力を育むには、家庭ではどのような点に気をつければよいですか。

A 非認知的能力は、まさに「健康で幸福な」生活の中で育まれます。子どもの幸福な生活は、嬉しい時も悲しい時も自分の気持ちを汲み取ってくれるご家族に守られ、支えられていると子どもが実感していることによって作られていきます。ご家庭では、お子さんが「お母さん」「お父さん」と話しかけてきたら、いつでも「なあに？」と、子どもさんの話に耳を傾けて、一緒にたくさんお話をしてください。

乳幼児期は、しっかり支えられ守られることで、子どもたちの心の強さが育っていきます。例えば子どもたちが何かに挑戦しているとき、根気強く見守り、本当に助けを必要としたときに必要な手助けをする、それによって根気強さが子どもの中に育って行きます。

ご家庭の環境としては、子どもが電子機器ではなく人と接し、会話する環境、自然に触れ、自然の中で遊ぶ環境を大切にされたら良いと思います。



(回答：小田倉 泉先生 教育学部乳幼児教育講座)